

平成18年4月、那賀郡岩出町が市制を施行して誕生した岩出市。
新しい時代に柔軟に対応した和歌山県の新しいゲートウェイシティとして、
魅力あるまちづくりを進めています。

15th anniversary

ともに歩んで

15年、活気あふれるまちへ。

平成17年11月、紀の川流域の5町が合併して誕生した紀の川市。
清流・紀の川がもたらす豊かな恵みと美しい自然環境、
深い歴史が息づいています。

「活力あふれるまち ふれあいのまち」を目指して



岩出市
中芝正幸市長

市制施行から15周年を迎え、この記念すべき年を市民の皆様とお祝いするとともに、未来に向けて更なる飛躍の契機とするため、市制施行15周年記念式典の開催を予定しています。また、令和3年度は、本市の新たな運営指針である「第3次岩出市長期総合計画」の開始年度となります。本計画に基づき、まちづくりを進めていく中で、本市を取り巻く環境は、今後、ますます

厳しい状況になると予測されます。

社会・経済環境の変化に対応しながら、市民・地域・民間・行政等が連携し、「対話と協調」を基本理念に、市の将来像である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、まちづくりを進めてまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成18年4月1日、多くの市民の願いであった単独での市制施行が実現し、岩出市が誕生しました。15年を振り返れば、「県道泉佐野岩出線4車線化」「京奈和自動車道紀北西道路」「県道泉佐野岩出線岩出橋」などの広域幹線道路の整備、公共下水道の整備やさぎのせ公園などの都市基盤の整備、防災対策として市庁舎・各小中学校・各地区公民館など公共施設の耐震化、観光振興対策として「旧和歌山県議会議

「まちの整備や観光振興に尽力した15年
「住んでよかった」と思えるまちへ

事堂（二乗閣）」の移築復原、道の駅「ねごろ歴史の丘」のオープンなど新たな観光資源を活かした観光基盤の整備など、さまざまな課題に対応した事業に取り組んできました。今年度は、15周年を祝う記念式典をはじめ、秋には国民文化祭、全国障害者芸術祭など予定しています。今後も引き続き、市にふさわしいまち、バランスのとれたまちの実現を目指し、住んでよかったと思えるまちづくりを進めていきます。

紀の川市のさらなる発展のために



紀の川市
中村慎司市長

本市では「安全・安心なまちづくり」を最重点に位置づけ、市民の皆様「本当に住みやすいまちだ」と言ってもらえるよう、まちづくりを進めてまいりました。しかし、昨今、本市を取り巻く環境は大きく変化し、それらの変化に柔軟な対応が求められています。こうした状況を鑑み、令和3年度は「地域経済の好循環形成に向けた取り組み」と「新たな日常の構築」を重

点的に進めてまいります。さらに、関西国際空港と紀の川ICを直結する京奈和関空連絡道路の早期着工に向けた活動も実施していきます。

これからも、皆様が安全で安心して暮らすことができるよう、より一層市政運営に取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

紀の川市は、昨年11月7日に市制施行15年を迎えました。この間、「安全・安心」の分野では、岩出頭首工付近に拡幅水路を整備する岩出狹窄部対策事業が平成28年から実施され、市内の浸水被害の軽減を図りました。また「子育て・教育」の分野では、中学校卒業までの子ども医療費の無料化に加え、市内全小中学校の校舎の耐震化と普通教室へのエアコンの設置を行うことで、子どもたちの安

市民の皆様が安心して暮らすことができる
魅力あふれるまちを目指して

全・安心な教育環境を整備。「産業」の分野では、企業誘致や道の駅・青洲の里の整備のほか、ほ場整備事業などの農業施策の展開を積極的に進めてきました。今年度はマイナンバーカード保有者への地域振興券の配布など、経済対策を予定しています。今後も「人が行き交い 自然の恵みあふれる 住みよいまち」の実現に向けて、魅力あるまちづくりを進めていきます。



「市民が創る市民のためのまつり」
毎年、夏の最後のイベントとして開催します。いわで楽市や花火など、毎年多くの人でにぎわいます。



県道泉佐野岩出線岩出橋開通

平成30年7月新しい岩出橋（橋長378m）が開通。「世代を超えて永く受け継がれる橋に…」との願いを込め、三世代夫婦による渡り初めを行いました



道の駅「ねごろ歴史の丘」

ねごろ歴史資料館と、物販・情報施設などからなる道の駅。物販施設では、岩出市特産品をはじめ、和歌山県内の土産物がそろいます



ベトナム・クアンナム省と友好協力へ

令和2年1月、ベトナムのダナンにおいて文化交流や農業協力に関する事項が盛り込まれた「友好協力関係の構築に関する覚書」を締結。今後もハスを通じた交流の促進が期待されます



市民体育館の竣工

アリーナのほか会議室や更衣室を有する多目的体育館が完成。スポーツ・各種レクリエーション活動などに利用できます。ユニバーサルデザインにも配慮し、全世代の利用に対応しています



ほ場整備

貴志川町北山地区ほか4カ所において、ほ場整備に取り組み、農業生産性の向上や農業舗道の整備を図りました。今後も地域が一体となった農村・農地の基盤整備を進めていきます

紀の川市のあゆみ

2005（平成17）年11月

紀の川市制の施行
那賀郡打田町、粉河町、那賀町、桃山町、貴志川町の5つの町が合併し、誕生しました

2013（平成25）年8月

市役所新庁舎の竣工式
（1月4日業務開始）

2015（平成27）年7月

京奈和関空連絡道路建設
促進期成同盟会の設立

2016（平成28）年8月

中学校卒業までの通院医療費を
無料化する子ども医療制度の拡充
※平成26年4月1日、中学校卒業
までの入院医療費を無料化しました

2017（平成29）年10月

市内全小中学校（普通教室）に空
調設備の設置が完了

2019（令和元）年8月

荒川中学校校舎の竣工式
※荒川中学校のほか、合併から15年
で打田中学校・粉河中学校・名手小
学校・安楽川小学校の校舎を改築し
ました

2020（令和2）年4月

新型コロナウイルス感染症拡大に伴
い、紀の川市独自の対策事業を
実施。
特別定額給付金のの上乗せ給付、
水道料金の免除、全世帯へのマス
ク配布、経営安定化給付金の給
付など
若者住宅取得奨励金を交付。人
口減少対策として、若年層の住
宅取得に対し、奨励金を交付し
ました

岩出市のあゆみ

2006（平成18）年4月

市制施行。岩出市開市式、岩出
市誕生記念式典挙行。全国で
802番目、近畿で110番目、
和歌山県では9番目の市として
岩出市が誕生しました

2013（平成25）年11月

「第25回全国子守唄サミット&フ
ィーイバル2013 in 岩出」
開催。全国から子守唄発祥の地
である6市1村が集まり、演武
などが披露されました

2017（平成29）年3月

京奈和自動車道紀北西道路（岩出
橋架IC）和歌山JCT供用開始

2017（平成29）年5月

岩出図書館、入館者200万人
達成

2017（平成29）年11月

地方自治法施行70周年記念
総務大臣表彰受賞。「地方自治
の発展向上に寄与した」自治体
として総務大臣表彰を受賞しま
した

2019（令和元）年7月

岩出市民プールオープン。常時
592トンの水を貯留し、災害
時には1300人分の飲料水生
活用水として供給できる市民プ
ールがオープンしました

2019（令和元）年9月

大伝法堂、光明真言殿、大門、不
動堂、行者堂、聖天堂 国の重
要文化財に指定。新義真言宗総
本山根来寺の建造物6棟が、境
内復興の中枢をなす建造物群と
して高い歴史的価値が認められ
ました